



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月13日

上場取引所 東

上場会社名 東和薬品株式会社
 コード番号 4553 URL <https://www.towayakuhin.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田逸郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 田中政男 TEL 06-6900-9102
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	37,900	33.4	4,570	△12.3	4,778	△9.6	3,335	△11.4
2020年3月期第1四半期	28,406	11.4	5,209	48.8	5,283	9.9	3,764	5.6

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 2,751百万円 (△27.2%) 2020年3月期第1四半期 3,781百万円 (7.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	67.77	62.66
2020年3月期第1四半期	76.51	70.77

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	245,145	105,948	43.2
2020年3月期	228,138	104,649	45.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 105,948百万円 2020年3月期 104,649百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	22.00	—	22.00	44.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	22.00	—	22.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期（累計）	72,800	31.5	7,000	△24.1	7,300	△25.0	5,100	△27.8	103.64
通期	150,000	35.9	14,300	△11.4	14,800	△29.5	10,400	△28.3	211.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	51,516,000株	2020年3月期	51,516,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	2,301,793株	2020年3月期	2,301,793株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	49,214,207株	2020年3月期1Q	49,209,117株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、極めて厳しい状況にあります。感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていくなかで、極めて厳しい状況から持ち直しに向かうことが期待されます。しかしながら、国内外の感染症の動向や金融資本市場の変動影響等、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループにおける新型コロナウイルス感染症の影響としては、販売面におきまして、営業活動の自粛や患者さんの受診抑制等により、わずかな影響がありました。また、生産面につきましても、海外での都市封鎖や外出制限等により、原薬の調達に一部影響はありましたが、原薬の複数購買化等により安定供給への影響は限定的でありました。

以上のように、当第1四半期連結累計期間における新型コロナウイルス感染症が当社グループの業績に与える影響は軽微ですが、今後の感染拡大の状況が長期化・深刻化した場合には、通期の業績に影響を及ぼす可能性があります。

ジェネリック医薬品業界では、2017年6月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2017」において、「2020年9月までに、後発医薬品の使用割合を80%とし、できる限り早期に達成できるよう、更なる使用促進策を検討する。」ことが決まり、これを受けて2018年4月の診療報酬改定以降、各種施策が講じられました。さらに2020年4月の診療報酬改定においても、引き続き「後発医薬品やバイオ後続品の使用促進」策が決まり、2017年4-6月期時点で67.8%であった数量シェアが2020年1-3月期においては78.5%となり(日本ジェネリック製薬協会調べ)、目標の80%に向けて、ジェネリック医薬品の普及が進んでおります。

一方、2019年10月と2020年4月に薬価改定が実施され、また、本年7月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2020(骨太方針2020)」において本年の薬価調査の実施に関する言及があり、「新型コロナウイルス感染症による影響も勘案して、十分に検討し、決定する」とされているものの、2021年度以降は2年に1度の通常の薬価改定に加え、中間年における薬価改定が行われ毎年薬価改定となることが見込まれる等、ジェネリック医薬品業界にとって厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループにおいては、2018年5月に発表した「中期経営計画2018-2020 PROACTIVE」に基づき、国内ジェネリック医薬品事業を基盤としつつ、新規市場への進出・新規事業の創出など、より世の中や地域社会に必要とされる企業となるべく各種施策に取り組んでおります。

国内ジェネリック医薬品事業においては、6月に新製品10成分22品目を初年度売上高3,200百万円の計画で販売を開始し、当社のジェネリック医薬品の製品数は340成分754品目となりました。

また、安定供給体制の維持・強化のため、原薬購買の複数購買化を6割以上に維持し、原薬製造からソフトカプセル製剤も含めた製剤製造等、グループ全体で取り組みを行っております。

また、6月にセルトリオン・ヘルスケア・ジャパン株式会社(以下「セルトリオン」という)が販売する、抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤『インフリキシマブBS点滴静注用100mg「CTH」』の日本国内での共同販売に関する契約をセルトリオンと締結し、バイオシミラーの取扱いを開始いたします。

新規市場への進出として、前連結会計年度にスペインの大手医薬品メーカーであるCorporación Químico Farmacéutica Esteve, S.A.及びEsteve Pharmaceuticals, S.A.(本社:スペイン・カタルーニャ州)より買収したPensa Investments, S.L.(本社:スペイン・カタルーニャ州、新商号:Towa Pharma International Holdings, S.L.、以下「Towa HD」という)を通じて欧州及び米国市場での事業展開を果たしました。Towa HDが持つ、欧州複数国に加え米国での販売網と、欧州にある欧米の基準に準拠した製造拠点を活用し、さらなる事業拡大を目指してまいります。

新規事業の創出として、厚生労働省が掲げる「健康寿命の延伸」の実現を目指し、国立循環器病センターと植物由来成分「タキシフォリン」の認知症予防効果に関する医学的エビデンス構築を目的とする共同研究を開始し、地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪精神医療センターと、アルツハイマー型認知症のバイオマーカーに関する共同研究契約を締結するなど、新たな健康関連事業の着手に取り組んでおります。今後も、「人々の健康に貢献する」という当社の理念のもと、ヘルスケア領域での新規事業の創出を目指してまいります。

このような活動の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、37,900百万円(前年同期比33.4%増)となりました。売上原価率は58.1%と前年同期比4.9ポイント上昇したものの、売上総利益は15,896百万円(同19.5%増)となりました。また、販売費及び一般管理費について

は、11,325百万円(同39.9%増)となりました。その結果、営業利益は4,570百万円(同12.3%減)、経常利益は4,778百万円(同9.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,335百万円(同11.4%減)となりました。

国内の売上高は2019年10月と2020年4月に行われた薬価改定の影響により、27,936百万円(前年同期比1.7%減)となりました。売上原価率は55.1%と前年同期比1.9ポイント上昇し、売上総利益は12,556百万円(同5.6%減)となりました。また、販売費及び一般管理費については、支払手数料等の増加により8,422百万円(同4.0%増)となりました。その結果、営業利益は4,133百万円(同20.7%減)となりました。

Towa HDの売上高は9,964百万円、売上原価率は66.5%、売上総利益は3,339百万円となりました。また、販売費及び一般管理費については、2,902百万円となりました。その結果、営業利益は436百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、245,145百万円となり、前連結会計年度末比17,006百万円の増加となりました。その主な要因は、現金及び預金の増加13,701百万円などです。

負債につきましては、139,197百万円となり、前連結会計年度末比15,708百万円の増加となりました。その主な要因は、長期借入金の増加18,634百万円、未払法人税等の減少2,886百万円などです。

純資産につきましては、105,948百万円となり、前連結会計年度末比1,298百万円の増加となりました。その主な要因は、利益剰余金の増加1,918百万円などです。

その結果、自己資本比率は43.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月14日に公表した2021年3月期の連結業績予想(第2四半期(累計)及び通期)は、修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,713	32,415
受取手形及び売掛金	35,191	37,262
電子記録債権	6,401	7,049
商品及び製品	24,130	25,629
仕掛品	8,258	8,802
原材料及び貯蔵品	18,027	19,342
その他	9,673	9,700
貸倒引当金	△20	△38
流動資産合計	120,375	140,165
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	47,941	49,814
機械装置及び運搬具(純額)	13,033	13,458
土地	11,194	11,487
建設仮勘定	4,936	4,747
その他(純額)	2,224	2,271
有形固定資産合計	79,330	81,778
無形固定資産		
のれん	10,209	9,710
その他	7,440	7,279
無形固定資産合計	17,650	16,989
投資その他の資産		
投資有価証券	455	520
退職給付に係る資産	27	28
その他	10,407	5,796
貸倒引当金	△107	△132
投資その他の資産合計	10,783	6,211
固定資産合計	107,763	104,980
資産合計	228,138	245,145

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,585	10,712
電子記録債務	11,147	12,197
短期借入金	21,368	21,250
1年内償還予定の新株予約権付社債	—	10,865
1年内返済予定の長期借入金	6,767	6,767
未払法人税等	4,060	1,174
引当金	54	31
その他	16,484	14,354
流動負債合計	69,468	77,352
固定負債		
新株予約権付社債	15,024	4,156
長期借入金	36,640	55,275
退職給付に係る負債	364	430
その他	1,991	1,983
固定負債合計	54,020	61,844
負債合計	123,489	139,197
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,717	4,717
資本剰余金	7,870	7,834
利益剰余金	97,171	99,089
自己株式	△5,627	△5,627
株主資本合計	104,132	106,014
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	79	121
為替換算調整勘定	438	△187
その他の包括利益累計額合計	517	△66
純資産合計	104,649	105,948
負債純資産合計	228,138	245,145

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	28,406	37,900
売上原価	15,099	22,003
売上総利益	13,306	15,896
販売費及び一般管理費	8,097	11,325
営業利益	5,209	4,570
営業外収益		
受取利息	16	3
受取配当金	1	1
補助金収入	17	6
デリバティブ評価益	—	370
為替差益	8	74
その他	93	79
営業外収益合計	137	538
営業外費用		
支払利息	33	43
売上割引	—	249
デリバティブ評価損	24	—
その他	5	37
営業外費用合計	63	329
経常利益	5,283	4,778
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産処分損	0	1
投資有価証券評価損	—	6
特別損失合計	0	7
税金等調整前四半期純利益	5,283	4,772
法人税等	1,518	1,436
四半期純利益	3,764	3,335
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,764	3,335

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月 1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月 1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	3,764	3,335
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16	41
為替換算調整勘定	—	△625
その他の包括利益合計	16	△583
四半期包括利益	3,781	2,751
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,781	2,751
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。